

賀
正

朝日連峰からのぞむ御来光 (佐竹伸一さん・立木 撮影)

広報

あさひまち

ASAHI-MACHI

1 | 1993
JAN.
月号
NO.434

あふれる町づくり

清野新町長に期待



昨年十一月十日に告示され、三人の立候補者で激しい選挙戦を展開した朝日町長選挙。十五日に町内二十力所で一斉に投票が行われ、即日開票の結果清野新町長が誕生しました。

「ふれあいの里」を中心とした高齢者対策をはじめ、学校教育施設の整備、若者定住、産業の振興など山積する重要課題にどう取り組むのか。今月は新しい年を迎え、新たな町づくりに燃える清野町長に、抱負と施策を中心に長岡輝美広報委員が伺いました。



清野 隆 町 長

昭和8年6月21日生まれ59歳。四ノ沢。町収入役を経て平成4年12月8日に第5代朝日町長に就任。県立上山農業高校卒。趣味は囲碁と読書、スポーツと多彩。

誠実・公正を基本に 五本の柱

●長岡 新年明けましておめでとうございます。昨年は清野町長さんにとりまして、初めての選挙の年ということで、何かとお忙しかったのではないでしょう。私たちが町民は、私たちが選挙で選んだ町長さんというところで、大変期待をしているところです。

早速ですが、清野町政の新年にかける抱負からお聞かせください。

●町長 昨年は、多くの町民のみなさんから暖かいご支援とご支持をいただき深く感謝しております。町民のみなさんと本音で語り合い、誠実、公正を基本に明るい朝日町をめざして全力投球をする考えであります。

具体的には、「夢と希望のもてる町づくり」を基本としながら特別養護老人ホーム建設を柱とした①福祉と健康の町づくり。

二つ目は、若者定住を促進するための雇用促進住宅建設などを中心とした②定住対策と環境の整備です。三つ目は、大谷の秋葉山周辺の整備や町内商店の利便促進を図る③活力ある産業の

振興。四つ目は、生涯教育の推進や大沼分校改築などの④教育の振興と文化の創造です。さらに、五番目は町民の声なき声のどく町政や本音で語り合える会議などの⑤町民との対話による町づくりです。これら五つを二十一世紀へ向けての新たな柱として全力で取り組む覚悟です。

●長岡 五つの柱の内容を詳しくお聞きする前に、五十三億円ともいわれている町の借金について、台所を預かる主婦としては一番心配な点なのですが。

●町長 町が道路や施設などを整備するときは、自己財源だけではなかなか大変です。その時に、国の機関（大蔵省や郵政省の貸し出し機関）や市中金融機関からお金を借ります。これが起債といわれる町の借金ということになります。この起債の平成三年度末残高は約五十三億円あります。そのうち約半分の二十五億円が過疎債といわれるものです。これは過疎指定の町村が特別有利に借りられるもので、返済額の七〇％が地方交付税という交付金で国から町に交付さ

新春インタビュー

夢と希望の

1期目に燃える



未来を担う少年たちのために急がれる教育環境の整備



長岡 輝美 広報委員

昭和33年9月10日生まれ34歳。常盤。青年時代は町連合青年団の役員として地域づくりに活躍。平成4年4月1日より広報委員。7人家族。趣味はバレーボールと書道。

高齢者対策に 全力投球

●長岡 そうですか。お話を伺って少し安心しました。町長さんはこれまで、収入役さんをな

されます。台所事情が苦しいのは確かですが、借金を返済するのが精一杯で、後は何もできないという状況ではありません。これからは町民のみなさんに実情をご理解いただき、ご協力をお願いしながら町づくりを進めたいと考えております。

されて財政のプロとお聞きしておりますので、よろしくお願ひします。

また、町づくりの基本となりますと、一昨年の三月に策定された第三次朝日町基本構想・基本計画があります。これについてはいかがでしょうか。

●町長 第三次の基本構想策定については、町民各層から参画していただき一年あまりの期間をかけて策定されました。今後の舵取を行う上で、この基本構想・基本計画を十分尊重して町づくりを進めてまいります。しかし、実際の事業展開となると、バブル経済の崩壊などのように社会状況の変化によって変更する可能性はあります。

●長岡 それでは、はじめに高齢者対策の「ふれあいの里」整備について伺いしましょう。

●町長 町の高齢化率は六十五歳以上が二千四百五十一人で二三・六％となり県内一位です。一人暮らしが七十二人、寝たきり老人が約六十人という状況になっていきます。これらお年寄りの方は、これまで嫁いで子供を育て、お姑さんに努めたみなさんであったり、町発展のため一生懸命頑張った方々です。そういう方が老後を安心して健やかに暮らせるよう、一日も早い特

別養護老人ホームとデイサービスを備えた施設をお年寄りのみなさんへプレゼントしたいと考えています。具体的にいつ、どこに建設するかは、土地の問題や財政状況もありますので明言はできませんが、できるだけ早期に整備できるよう最大限の努力をいたします。

学校改築は 年次計画で

●長岡 お年寄りのみなさんや家族の方は、一日も早い完成を待っていると思います。できるだけ早い時期に整備されるよう期待しています。では次に、学校改築や文化会館の整備など教育の振興についてはいかがでしょうか。

●町長 さしあたり改築を急がなければならぬ学校は、大沼分校です。これについては、平成四年度で改築を行う予定でしたが、厳しい財政状況を考慮して延期している現状です。学区民の方からは、大変おしかりをいただいたところです。今後は教育委員会と十分協議を行い、平成五年度にはめどをつけ、六年度には着工したい考えです。その他の学校についても教育委



りんご温泉の和室で進められたインタビュー

員会と連携を密にして、順次整備を図りたいと考えています。

また、若者から要望のある文化会館は、将来的には必要と思いますが、今すぐとなるとなかなか大変ですね。今は、どういう施設がほしいのか、若い人達にもっと研究をしてほしいと考えているところです。

アパート建設と結婚専門 相談員設置で若者定住

●長岡 子供達が明るく学習活動に頑張れる施設の整備と、若い人達が夢のもてる文化施設をお願いします。

また、昨年の四月から新規学卒者で、町に定住する人に奨励金を支給する事業をスタートさせたようですが、若者の定住対策についてはどのようにお考えでしょう。

●町長 昨年の三月議会で定住促進条例をつくり、新規学卒者のうち町に住所があり、将来とも町に定住しようとする方に対し、町内に就職した方には十万円、町外に就職した方には五万円を差し上げています。この制度で若者を町にくぎづけにできるかとなると、現実的にはなかなか厳しい点があります。今の

●長岡 生涯学習についてはいかがでしょうか。

●町長 一生涯の中で、最も大切な時期は少年期の教育だと思います。少年達にはいろいろな体験をさせ、その中で喜びを感じられるような教育が必要だと考えています。

若者は何を基準に就職するかというと、基本的には賃金体系や就労条件だと思います。

現在考えていることは、三カ月に一回ぐらい若者達と本音で語る場を作ろうということです。そこで、いろいろな意見を出していただく中で、何か新しいものが生まれるのではないかと考えているところです。

また、定住対策の一環として雇用促進住宅事業団が宮宿中郷地区に建設することになっていて、アパートがあります。これは、五階建て四十世帯が入居できます。現在は用地の確保も完了し、平成五年度には土地を造成し、六年度に建設、七年度から入居を開始したいと考えています。

さらに、同じ場所に十二区画の町営分譲宅地も造成することになっています。これについては、五年度中に分譲を開始したいと考えています。

それに何と言っても結婚対策があります。わたしも今回二十一年目の仲人をやらせていただきましたが、実際にやってみると何回やってもたいへんだと感じました。町としても仲人をしていただいた方に、感謝の気持ちと激励の意味で仲人奨励金制度を是非つくりたいと考えています。金額はともかく、隣にお嫁さんが来ればみんなで祝福できるような町をめざしたいと考えています。

また、現在町では町民のみな

さんから十一名の結婚相談員をお願いしていますが、今後は役場内に結婚に関する専門の相談員を設置し、一人でも多く結ばれるよう応援をしてまいりたいと思っています。

●長岡 最近は結婚難と同時に、子供の出生率も下がっているように思います。

●町長 確かに平成になってから出生率が低下しています。平成二年度は、八十人程度だったと思います。結婚をして、子供を生んでもらわなくては町の人口はどんどん減ってしまいます。私としては、産みやすい環境を整備するという事で、保育料を三人目から無料にしたいと考えています。



若者定住は町づくりの大きな課題



農・商・工の振興により 活力ある町づくり

●長岡 子供を持つ母親としては大変ありがたいことです。是非実現していただきたいと思えます。次に、産業の振興についてお伺いします。まず、町の産業の基盤である農業からお願いします。

●町長 町には、先人のみなさんの苦勞によってリンゴ栽培を中心とした、すばらしい農業技術が確立されています。今後は、この技術力に販売戦略を加えた

農業が不可欠だと思います。そのためには、農業研究所が中心となり、パイオなどの先端情報はもちろん、農業に関するあらゆる情報を収集しなければなりません。今後の農業を占う上で、情報が大きなポイントになるでしょう。

具体的な事業になりますと、大谷地区の秋葉山周辺を指定している、中山間地域農村活性化総合整備事業があります。これは北部地区公民館建設が一番の目玉になる訳ですが、その他に秋葉山の公園整備や農道、用水路整備などを計画しています。

●長岡 商業や工業についてはいかがでしょう。

●町長 工業については、これまで同様振興発展をさせていく考えです。商業については、できるだけ町内のお店から物を買う運動を進めたいと思っております。そのためには、消費者が町の商店から品物を購入しようという意識を育てることが大切です。それと同時に、売る側も買いやすい雰囲気や欲しい物を並べるなど、買ってもらえる運

動を展開することが大事です。行政では、お互いがその接点を見つけられるようなお手伝いをしたいと考えています。

まず、行政自体でも学校教育関係の物品は、町内の商店から購入するなどの具体的施策を展開したいと考えております。

●長岡 そうですね。宮宿商店街の活性化を図ろうと、商店主のみなさんも意欲的に取り組んでいるようですね。是非、町のバックアップをお願いします。

次に、観光の拠点である朝日自然観について、今後どのように運営していけるのかお伺いします。

声なき声のどよめ 町民本位の町づくり

●長岡 最後に、町長さんは「町民の声なき声のどよめ町政」ということを掲げていらつしやいます。具体的にどのようなことをお考えなのでしょう。

●町長 町民のみなさんの中には、話すことが苦手な人や、行政に親身になって相談したいがその機会になかなか恵まれないという方がいらつしやいます。そこで、三カ月に一回ぐらいの割合で、広く町民のみなさんと

●町長 これまでの自然観の経営については、町民のみなさんのご支援によって、順調にきています。しかし、これからの施設の維持修理などを考えると、なかなか厳しい経営状況になると思われまます。これらのことを考えると、今後の自然観の運営については、町民のみなさんによく話し合つて、決めなければならぬことです。近い将来、町民の福祉的な施設として利用するのか、それともこれまで同様、町外のお客様を含め一企業として経営するのか、ということとを十分検討しなければならぬと考えています。

町長と語る会を開催したいと考えています。常に町民の生の声に耳を傾けてこそ、町民本位の町づくりがはじめて可能になるのではないのでしょうか。

●長岡 町長さんという職業は大変激務だと伺つております。健康には十分注意され、二十一世紀へはばたく町づくりのため活躍されることをご期待申し上げます。本日はありがとうございました。

農業を基盤に活力ある町づくり

新年



町民主役の町づくり

朝日町長 清野 隆

新年あけましておめでとうございます。
町民の皆様には、輝かしい新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

さて、揺るぎないわが町の大自然とは裏腹に、今や世の中は例外なく激動の真っ只中といっても過言ではありません。国際的な問題や国内の様々な問題は、一つの大きな変革のうねりの中にあり、私たちの身近なところにも大きく影響を及ぼしています。全方位に気を配ることがもつとも重要な時代に入りました。

しかしながら、どのような状況であろうと家庭でも、町、国、世界にあっても大本は信頼であります。互いに相手の幸せを望むこと、相手の喜びを喜ぶことが大切です。何事もそこから始まり、そこに結せねばなりません。具体的には、町にあつては民意を反映する町政です。実現すべきどの構想や計画も、お互いの幸せを願う町民の皆様との合意で命が吹き込まれるのです。

町民一人ひとりが、母なる川を中心に広がる大自然と、その懐で育んだ質実剛健な町民魂を誇りとし、協力し合つてどこにも負けないう、明るく元気で情熱ある町づくりをしていきましょう。一つ一つの課題の実現に努力することを約束し、町民の皆様がご多幸で良い年となりますようご祈念申し上げ、年頭のあいさついたします。



賀 謹

町民のみなさんと共に全力

朝日町議会議長 佐竹 薫

新年あけましておめでとうございます。

町民のみなさまには、健やかに新春を迎えられたこととおよろこび申し上げます。

さて、昨年は町始まって以来三十四年ぶりの町長選挙が行われ、四期十六年にわたり町政に尽力された小林前町長にかわり、清野新町長が誕生いたしました。町づくりにおいては、「地球にやさしい活力のまち」をめざす第三次総合開発基本構想のもと、西部地区公民館の完成や三年目を迎えた合併処理浄化槽、町道、農林道の整備などがすすめられ、「べにばな国体」も無事開催することができました。

本年は、町内外ともに非常に厳しい財政状況のなかではあります。が、二十一世紀に向けた町の最重要課題である「ふれあいの里構想」の着手や、雇用促進住宅の整備、若者定住対策の推進など、課題実現のために町民皆様とともに全力を尽くしていかなければならないと存じております。

町民皆様のご多幸をご祈念申し上げ、今後なお一層のご指導とご鞭撻をお願いし、年頭のごあいさついたします。

■連絡先

役場企画情報課

企画広報係へ

☎67-2111 (内222)



朝日自然観スキー場開き

昨年、一昨年と雪なしのスキー場開きが2年続きましたが、今年は絶好のスキーコンディションのもと、12月19日に朝日自然観スキー場開きが行われました。

ファンタジーゲレンデで行われた安全祈願祭には、町やスキー場関係者ら約60名が出席。シーズン中の無事故を祈りました。積雪1メートルを越すゲレンデでは、白倉スキークラブ員によるプラカード滑走や、デモンストレーションなどが披露されスキー場開きを祝いました。

このあと待ちかねていたスキーヤー約500人は、ゲレンデに飛び出し思い思いのシュプールを描いていました。



町家庭婦人バレーボール大会

12月13日、第19回朝日町家庭婦人バレーボール大会が町民体育館を会場に、13チーム210人の選手が出場し開催されました。今回からサークルリンク戦を採用した試合形式のため、最後までどこが優勝するか分からないという楽しみも加わり、スリリングな試合を展開しました。結果は次のとおりです。

◆Aブロック

1位 前田沢 2位 ハッ沼 3位 大町

◆Bブロック

1位 大谷ナンバー2 2位 和合A 3位 元町

住民の福祉に関する身近な相談役として、地道な活動にあたる民生児童委員。このほど三年間の任期満了にともない、十二



代表者に委嘱を交付

◆協議会総務に遠藤作兵衛氏(真中)

福祉の身近な相談者 民生児童委員を新たに委嘱

月四日に中央公民館で新たな委員の方に委嘱状の交付が行われました。

ひきつづき同委員協議会の総会が行われ、会の代表である総務に新たに真中の遠藤作兵衛氏を選出。さらに席上、長年にわたり活躍された退任委員、現委員合わせて十名へ厚生大臣などから感謝状が贈られました。

各地区の民生児童委員は次の方々です。(一)内は担当区です。
〔中部〕▽本町/安藤繁蔵(本町)▽西町/鈴木たか(西町)▽栄

第二十七回朝日町珠算競技大会が十二月十三日、中央公民館大ホールで開催されました。今年は町内の小学生七十三名が参加。乗・除算や見取り算、

パチパチ
そろばんの
腕前競う

町珠算競技会

読上げ算などの種目に挑戦し、日頃の練習の成果を競い合いました。成績は次のとおりです。

■総合①佐藤倫久(大谷四・四年)

②志藤里美(能中・六年)③

白田美和(栗木沢・五年)④海

野未恵(送橋・六年)⑤鈴木佐

江子(元町・六年)

■読上算①白田美和(栗木沢・五

年)②志藤里美(能中・六年)③

遠藤康範(栗木沢・六年)④佐

藤倫久(大谷四・四年)⑤長岡

武志(立木・六年)



町民の

このひろばはみなさんのページです。話題やご意見、作品など、ご自由にお寄せ下さい。

堀重雄さん(元町)文部大臣表彰 社会教育の振興に尽力

長年にわたり、町の社会教育振興発展に尽された堀重雄氏(元町・62歳)に、このたび社会教育功労文部大臣表彰が授与されました。

同氏は昭和四十七年四月から町社会教育委員を務められ、昭和五十三年からは社会教育委員会議長の要職にもつかれていいます。その間、生涯教育の推進を積極的提言し、「生涯学習課の設置」や「朝日町民大学」の創設に尽力された功績が認められ、今回の表彰に輝いたものです。おめでとうございます。



文部事務次官より賞状を受けとる堀さん

町／安藤芳雄(栄町)▽助ノ巻／伊藤政義・新任(助ノ巻・雪谷)▽大町／多田きよ子(大町)▽元町／鈴木菊子(元町・西原)▽新宿／小関絹(新宿・前田沢)▽四ノ沢／清野きよ(四ノ沢)▽小原／大野孝(小原・宿)▽沼向／菅井善治(沼向・大隅・平)▽送橋／海野多門(古楨・送橋)▽下芦沢／大滝伸之・新任(下芦沢)▽水本／高橋壽男・新任(水本)▽松原／松尾信朋(杉山・松原)▽宇津野／細谷芳男・新任(宇津野・大滝)

沼・高田)▽能中／鈴木たか子・新任(能中)▽太郎二／松田俊子(太郎一・二)▽太郎三／大井やゑ子・新任(太郎三・石須部)▽立木／阿部啓次郎(立木)▽白倉／渡辺友吉(白倉)▽松程／阿部富美男(松程)▽大船木／佐藤秀雄・新任(今平・大船木)

(北部)▽大谷一／大谷五助(大谷一・二)▽大谷三／白田昭吉(大谷三・四)▽大谷五／長岡嘉一(大谷五・六)▽大谷六／長岡嘉一郎(大谷六・七)▽中沢／堀健吾(大谷七・中沢)▽真中／遠藤作兵衛(真中・舟渡)▽栗木沢／菊地徳一(栗木沢・川通)▽大暮山／阿部喜由(大暮山)▽大沼／小林幸雄・新任(大沼)



●赤い羽根共同募金へ
戸別募金 七二五、一〇〇円
法人募金 二二二、〇〇〇円
大口募金 一八九、〇〇〇円
その他 三四、二五二円
●歳末たすけあい募金へ
▽地域募金 七二〇、九〇〇円
▽連合婦人会 二五、六七五円
▽その他 三、五八二円
▽仏教会からもち米などの品物

●町社会福祉協議会へ
▽小林富蔵さん(大沼)より 三〇二点
三〇〇、〇〇〇円
▽阿部三四夫さん(太郎一)より 五〇、〇〇〇円
▽寒河江遊技業組合(島村竜治組合長)より 五〇、〇〇〇円
▽町連合婦人会(鈴木たか会長)より 一〇、〇〇〇円
▽村山長助さん(本町)より 五、〇〇〇円
●町育英会へ
▽小林富蔵さん(大沼)より 五〇〇、〇〇〇円



桜井ちずるさん・大谷ニ



阿部早百合さん・立木



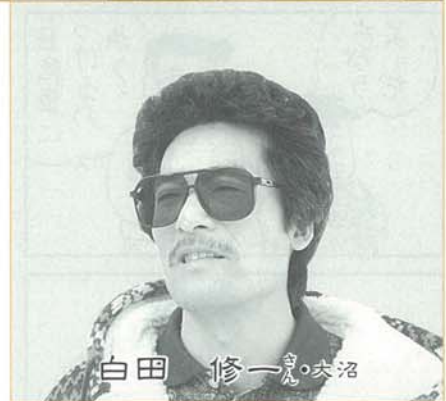
成原 節子さん・新宿

酉年生まれガンバルゾー!!



して

ございます



白田 修一さん・大沼



阿部のぞみさん・ハッ紹



長岡 忠作さん・常盤



清野あや子さん・古根



村山 史郎さん・宇津野



鈴木 幸子さん・宿



海野 美湖さん・西船渡



白田登喜雄さん・大谷三



佐竹 とりえさん・富田



鈴木ナミ子さん・太郎三



志藤 雄さん・川通



海野千恵子さん・長沼



白田 隆彦さん・平



遠藤ユキ子さん・栗本沢



長岡 善司さん・常盤



私たちは

新年あけま



おめでとう

第42回 全日本年賀状版画コンクール

全国大会 佳作

「お正月」

製作者

佐藤

瑞歩さん

(平・和合小2年)



立木小に学校賞

8人が入賞

東北予選大会

このたび第42回全日本年賀状版画コンクールで、和合小2年の佐藤瑞歩さんの「お正月」という作品が全国で佳作に選ばれました。この作品は、紙版画多色刷という珍しい方法で作られたもので、この方法を使うと比較的低学年でも版画に取り組めるというものです。その他にも東北地方予選で数多くの作品が入賞しました。

〔東北予選成績〕

●学校賞 立木小学校

●入賞者／佐藤瑞歩(和合小2年)

石黒 敏(西小大船木分校3年)

阿部由佳(上郷小1年)

安藤茂昭(同1年)

鈴木佳奈美(和合小2年)

高橋由香理(水本小6年)

岡崎美穂香(同6年)

佐竹伸一(立木小教諭)

●佳作／岡崎直樹(水本小1年)

阿部浩明(西小大船木分校1年)

村山武史(上郷小1年)

長岡美奈(立木小5年)

大井寛治(同5年)

岡崎吉克(水本小5年)

阿部政和(立木小6年)

土屋沙織(水本小6年)

ふるさと
人国記
33

田原 眞 稔

—ふるさとの歴史に光をあてた人—



東南に最上川の流れる豊かな大地で育った少年は、澄んだ眼で昔とかわりない大空の雲を見上げていた。少年は大谷上の原の田原家、父壮義、母みどりの二男として、大正十四年一月九日に生れる。

昭和二十年九月に山形師範学校を卒業すると、和合、送橋、大谷の小学校教師を歴任。本郷東部小を経て宮宿小学校に四年勤めて退職、りんご栽培に転職する。昭和三十二年春のことであつた。フルーツセンターと名付けたりんご園で、青年たちと語らい栽培の指導をつづけた。しかし、彼の本領は考古学にあつた。戦後の考古学研究が混

とんとしていく中で、いち早く研究者に呼びかけて縄文文化研究会を設立し主宰する。昭和二十二年四月に発刊された考古学研究誌「縄文」は第四輯まで発行され、中央の学界にもその名を知られ、今では貴重な考古学文献となっている。

考古学研究者の大会が東京大学で開催された時、彼の発表した「縄文学の提唱」は、その構想の大きさと緻密な研究プランで、集まった研究者を驚かせた(菅井進氏談)とのことである。昭和三十六年六月から町報あさひに「ふるさとの歴史」を連載。民衆の生活と密着した郷土の歴史を、考古学・民族学の立場から解明し論述した。

昭和四十五年、くも膜下出血で県立山形中央病院に入院。手術後の経過もよく、退院して一応の回復を見たが、昭和五十五年十二月二十九日惜しまれながら生涯を閉じ大地に還った。享年満五十五歳。文・杉ひさし